

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|-----------|
| 学校名 | 東京工学院専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人田中育英会 |

| 1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数 | | | | | |
|--------------------------|---|-----------|-----------------------------|-------------------|------|
| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の授業時数又は単位数 | 省令で定める授業時数又は基準単位数 | 配置困難 |
| 工業専門課程 | 電気電子学科 昼間制 (2年制) 電気工学コース | | 1836 時間 | 80×2=160時間 | 1 |
| | 電気電子学科 昼間制 (2年制) 電子技術コース | | 720 時間 | 80×2=160時間 | 2 |
| | 電気電子学科 昼間制 (2年制) 大学コース | | 1836 時間 | 80×2=160時間 | 3 |
| | 航空学科 昼間制 (2年制) パイロットコース | | 1296 時間 | 80×2=160時間 | 4 |
| | 航空学科 昼間制 (2年制) 大学コース | | 1296 時間 | 80×2=160時間 | 5 |
| | 建築学科 昼間制 (2年制) 建築設計コース | | 1728 時間 | 80×2=160時間 | 6 |
| | 建築学科 昼間制 (2年制) 建築施工コース | | 1728 時間 | 80×2=160時間 | 7 |
| | 建築学科 昼間制 (2年制) 情報&環境建築コース | | 1728 時間 | 80×2=160時間 | 8 |
| | 建築学科 昼間制 (2年制) 一級建築士・大学コース | | 1584 時間 | 80×2=160時間 | 9 |
| | インテリアデザイン科 昼間制 (2年制) インテリアデザインコース | | 1944 時間 | 80×2=160時間 | 10 |
| | インテリアデザイン科 昼間制 (2年制) 大学コース | | 1944 時間 | 80×2=160時間 | 11 |
| | 情報システム科 昼間制 (2年制) ITエンジニアコース | | 1188 時間 | 80×2=160時間 | 12 |
| | 情報システム科 昼間制 (2年制) AIシステムコース | | 1188 時間 | 80×2=160時間 | 13 |
| | 情報システム科 昼間制 (2年制) ICTクリエイターコース | | 1260 時間 | 80×2=160時間 | 14 |
| | 情報システム科 昼間制 (2年制) ITスペシャリスト・大学コース | | 1332 時間 | 80×2=160時間 | 15 |
| | 経営情報科 昼間制 (2年制) やりたいことを仕事にするコース | | 1116 時間 | 80×2=160時間 | 16 |
| | 経営情報科 昼間制 (2年制) マネジメントエキスパートコース | | 1116 時間 | 80×2=160時間 | 17 |
| | 経営情報科 昼間制 (2年制) SDGsビジネスコース | | 1116 時間 | 80×2=160時間 | 18 |
| | 経営情報科 昼間制 (2年制) 大学コース | | 1224 時間 | 80×2=160時間 | 19 |
| | ビジネス情報科 昼間制 (2年制) 総合ビジネスコース | | 1116 時間 | 80×2=160時間 | 20 |
| | ビジネス情報科 昼間制 (2年制) 経営・起業コース | | 1116 時間 | 80×2=160時間 | 21 |
| | ビジネス情報科 昼間制 (2年制) 大学コース | | 1116 時間 | 80×2=160時間 | 22 |
| | 法律情報科 昼間制 (2年制) 法律情報コース | | 1476 時間 | 80×2=160時間 | 23 |
| | 法律情報科 昼間制 (2年制) 大学コース | | 1476 時間 | 80×2=160時間 | 24 |
| | 大学併修学科 昼間制 (4年制) | | 1116 時間 | 80×4=320時間 | 25 |

| | | | | | |
|---------------------------------------|--|---------|----------------|----------------|----|
| 芸術専門課程 (文化教養) | コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) イベント企画コース | | 1404 時間 | 80×2＝ 160時間 | 26 |
| | コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) ステージ制作コース | | 1404 時間 | 80×2＝ 160時間 | 27 |
| | コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) ステージ音響コース | | 1440 時間 | 80×2＝ 160時間 | 28 |
| | コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) ステージ照明コース | | 1440 時間 | 80×2＝ 160時間 | 29 |
| | コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) イベントビジネス・大学コース | | 1476 時間 | 80×2＝ 160時間 | 30 |
| | 映像メディア学科 昼間制 (2年制) 放送メディアコース | | 1872 時間 | 80×2＝ 160時間 | 31 |
| | 映像メディア学科 昼間制 (2年制) 動画クリエイターコース | | 1872 時間 | 80×2＝ 160時間 | 32 |
| | 映像メディア学科 昼間制 (2年制) 映像ビジネス・大学コース | | 1872 時間 | 80×2＝ 160時間 | 33 |
| | 音響芸術科 昼間制 (2年制) 音響芸術コース | | 1476 時間 | 80×2＝ 160時間 | 34 |
| | 音響芸術科 昼間制 (2年制) 大学コース | | 1476 時間 | 80×2＝ 160時間 | 35 |
| | CGクリエイター科 昼間制 (2年制) CGクリエイターコース | | 720 時間 | 80×2＝ 160時間 | 36 |
| | CGクリエイター科 昼間制 (2年制) 大学コース | | 720 時間 | 80×2＝ 160時間 | 37 |
| | デザイン科 昼間制 (2年制) グラフィックデザインコース | | 1476 時間 | 80×2＝ 160時間 | 38 |
| | デザイン科 昼間制 (2年制) WEBデザインコース | | 1440 時間 | 80×2＝ 160時間 | 39 |
| | デザイン科 昼間制 (2年制) 大学コース | | 1692 時間 | 80×2＝ 160時間 | 40 |
| | 声優・演劇科 昼間制 (2年制) 声優コース | | 3096 時間 | 80×2＝ 160時間 | 41 |
| | 声優・演劇科 昼間制 (2年制) 俳優コース | | 3096 時間 | 80×2＝ 160時間 | 42 |
| | 声優・演劇科 昼間制 (2年制) 大学コース | | 3024 時間 | 80×2＝ 160時間 | 43 |
| | スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツトレーナーコース | | 2160 時間 | 80×2＝ 160時間 | 44 |
| | スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツインストラクターコース | | 2160 時間 | 80×2＝ 160時間 | 45 |
| | スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツマネジメントコース | | 1728 時間 | 80×2＝ 160時間 | 46 |
| | スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) サッカーエキスパートコース | | 2304 時間 | 80×2＝ 160時間 | 47 |
| | スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) 大学コース | | 3132 時間 | 80×2＝ 160時間 | 48 |
| | ミュージック科 昼間制 (2年制) ヴォーカル&シンガーソングライターコース | | 1800 時間 | 80×2＝ 160時間 | 49 |
| | ミュージック科 昼間制 (2年制) プレイヤーコース | | 1800 時間 | 80×2＝ 160時間 | 50 |
| | ミュージック科 昼間制 (2年制) サウンドデザイナーコース | | 1800 時間 | 80×2＝ 160時間 | 51 |
| | ミュージック科 昼間制 (2年制) 大学コース | | 1800 時間 | 80×2＝ 160時間 | 52 |
| | ゲームクリエイター科 昼間制 (2年制) ゲームクリエイターコース | | 1728 時間 | 80×2＝ 160時間 | 53 |
| | ゲームクリエイター科 昼間制 (2年制) おもちゃクリエイターコース | | 1692 時間 | 80×2＝ 160時間 | 54 |
| | ゲームクリエイター科 昼間制 (2年制) 大学コース | | 2916 時間 | 80×2＝ 160時間 | 55 |
| | アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) アニメーションコース | | 1728 時間 | 80×2＝ 160時間 | 56 |
| | アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) マンガコース | | 1836 時間 | 80×2＝ 160時間 | 57 |
| アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) イラストレーションコース | | 1836 時間 | 80×2＝ 160時間 | 58 | |
| アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) 大学コース | | 2808 時間 | 80×2＝ 160時間 | 59 | |

| | | | | | |
|---------------|---------------------------------------|--|---------|----------------|----|
| 教育・福祉 専門課程 | 教育専攻科 昼間制 (4年制) 幼稚園教諭1種コース | | 5400 時間 | 80×4= 320時間 | 60 |
| | 教育専攻科 昼間制 (4年制) 小学校教諭1種コース | | 5436 時間 | 80×4= 320時間 | 61 |
| | 教育専攻科 昼間制 (4年制) 保健体育教諭1種コース | | 1008 時間 | 80×4= 320時間 | 62 |
| | こども学科 昼間制 (3年制) こども英語コース | | 2952 時間 | 80×3= 240時間 | 63 |
| | こども学科 昼間制 (3年制) こども音楽コース | | 2952 時間 | 80×3= 240時間 | 64 |
| | こども学科 昼間制 (3年制) こどもスポーツコース | | 2952 時間 | 80×3= 240時間 | 65 |
| | こども学科 昼間制 (3年制) 大学コース | | 2916 時間 | 80×3= 240時間 | 66 |
| | 幼児保育学科 昼間制 (2年制) 保育士・幼稚園教諭2種コース | | 3780 時間 | 80×2= 160時間 | 67 |
| | 幼児保育学科 昼間制 (2年制) 大学コース | | 2628 時間 | 80×2= 160時間 | 68 |
| | こども科 昼間制 (2年制) 保育士・幼稚園教諭コース | | 1332 時間 | 80×2= 160時間 | 69 |
| | こども科 昼間制 (2年制) キャリアコース | | 1332 時間 | 80×2= 160時間 | 70 |
| | こども科 昼間制 (2年制) 大学コース | | 1332 時間 | 80×2= 160時間 | 70 |
| | 公務員科 昼間制 (2年制) 公務員コース | | 684 時間 | 80×2= 160時間 | 71 |
| | 公務員科 昼間制 (2年制) 大学コース | | 684 時間 | 80×2= 160時間 | 72 |

備考:

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表公表方法
HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄に○あり。
(掲載: <https://www.technosac.jp/department/syllabus/>)

3. 要件をみたすことが困難である学科

学科名

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄に○あり。
(掲載: <https://www.technosac.jp/department/syllabus/>)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|------------|
| 学校名 | 東京工学院専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 田中育英会 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

| |
|---|
| HPにて理事名簿を公開している (掲載： https://www.technosac.jp/department/syllabus/) |
|---|

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容 や期待する役割 |
|----------|--------|--------------------------|--|
| 非常勤 | 大学名誉教授 | 2020/10/1- 2025/10/31 | 教育全般に対する提案・指導・チェックや、大学関連者との橋渡しを期待する。 |
| 非常勤 | 飲食関連顧問 | 2020/10/1- 2025/10/31 | 飲食関連をはじめ、ホテルや観光関連に関する知見を元に関連教育へ生かしていただく。 |
| (備考) | | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|-----------|
| 学校名 | 東京工学院専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人田中育英会 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|--|---|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> | |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>電気電子学科(2年制)、航空学科(2年制)、建築学科(2年制)、インテリアデザイン科(2年制)、情報システム科(2年制)、経営情報科(2年制)、ビジネス情報科(2年制)、法律情報科(2年制)、大学併修学科(4年制)、コンサート・イベント科(2年制)、映像メディア学科(2年制)、音響芸術科(2年制)、CGクリエイター科(2年制)、デザイン科(2年制)、声優・演劇科(2年制)、スポーツビジネス科(2年制)、ミュージック科(2年制)、ゲームクリエイター科(2年制)、アニメ・マンガ科(2年制)、教育専攻科(4年制)、こども学科(3年制)、幼児保育学科(2年制)、こども科(2年制)、公務員科(2年制)</p> <p>〔作成について〕</p> <p>各授業科目については毎年度系部長会議により授業科目の設定・講義内容についての検討・検証に基づき各授業を担当する教員が作成する。</p> <p>授業科目名、必要時間数、担当教員名、到達目標・テーマ、講義内容、授業計画、成績評価方法、教科書等に関する事項は全科目共通で記載することが必須であり学内統一様式でシラバスを作成している。</p> <p>〔時期について〕</p> <p>翌年度の講義予定は12月～1月に担当教員が作成し、3月の理事会で承認を受ける。 3月中に翌年度分のシラバスをHPに公開している。</p> | |
| 授業計画書の公表方法 | https://www.technosac.jp/department/syllabus/ |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> | |
| <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>「学則」「学生生活のしおり」において成績評価、履修について規定している。</p> <p>各学科で定める授業科目の試験(レポート、小テスト等を含む)により成績評価を行っている。</p> <p><参考></p> <p>学則第21条 校長は教育課程の定めるところにより、修了すべき教科目を試験等による評価のうえ修了したと認める者には当該教科目の修了を認定する。</p> <p>学生生活のしおり (掲載：https://www.technosac.jp/current/)</p> <p>V-1-6 成績評価</p> <p>(1) 成績は定期試験、小テスト、レポート、提出物、学習態度、出席率の総合評価によって決定される。</p> | |

| | |
|---|--|
| <p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価においてはG P Aを導入し、学内の成績評価として使用している。 G P Aは学生の履修した科目あたりの平均成績を指す。 本校では独自奨学金、学業優秀者の選考資料として教員会議で活用している。 学業成績は授業科目ごとに行う試験（定期試験、小テスト、レポート等）によって評価される。評価点数により100～90点をS、89点～80点をA、79点～70点をB、69点～60点をCとして通知する。</p> <p>成績評価方法についてはHPで公開するほか、学生生活のしおりに掲載し入学時オリエンテーションで新入生に通知している。</p> | |
| <p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p> | <p>HPへの掲載 https://www.technosac.jp/department/syllabus/</p> |
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 東京工学院専門学校は人生100年時代で多様化する社会に対応するため専門性・人間力・総合力の本質的な力を持った「本物の職業人」を育成することを目的としている。 卒業要件については各学科定める所定の全授業科目を所定の年次に全て合格する事を定めている。詳細についてはディプロマポリシーはじめ学則、学生生活のしおりに掲載しており、HPに公表している。</p> | |
| <p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p> | <p>HPへの掲載 https://www.technosac.jp/department/syllabus/</p> |

様式第 2 号の 4 - ② 【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。

| | |
|------|-----------|
| 学校名 | 東京工学院専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人田中育英会 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | HPへの掲載 https://www.technosac.jp/department/syllabus/ |
| 収支計算書又は損益計算書 | 同上 |
| 財産目録 | 同上 |
| 事業報告書 | 同上 |
| 監事による監査報告（書） | 法人本部にて閲覧可能 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|---|----|-------------------------------|--------------------------------|--|--|---|-----------|
| 工業 | | 工業専門課程 | 電気電子学科 昼間制 (2年制) 電気工学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 2304 単位時間 | 0 単位 時間 | 1764 単位 時間 | 0 単位 時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員 数 <small>(電気電子学科の内 数)</small> | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 <small>(電気電子学科の内 数)</small> | 兼任教員数 <small>(電気電子学科の内 数)</small> | 総教員数 <small>(電気電子学科 の内数)</small> | |
| 80人 | | 8人 | 0人 | 1人 | 10人 | 11人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|---------------------------|----|---------------------------|--------------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 電気電子学科 昼間制 (2年制) 電子技術コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 2484 単位時間 | 0 単位時間 | 1764 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (電気電子学科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (電気電子学科の内 数) | 兼任教員数 (電気電子学科の内 数) | 総教員数 (電気電子学科 の内数) | |
| 80人 | | 0人 | 0人 | 1人 | 10人 | 11人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|---------------------------|----|---------------------------|------------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 電気電子学科 昼間制 (2年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 2232 単位時間 | 0 単位時間 | 1764 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (電気電子学科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (電気電子学科の内 数) | 兼任教員数 (電気電子学科の内 数) | 総教員数 (電気電子学科 の内数) | |
| 80人 | | 1人 | 0人 | 1人 | 10人 | 11人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2024年度 電気電子学科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|---------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 3人 (100%) | 2人 (66.7%) | 1人 (33.3%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) 興和不動産ファシリティーズ株式会社 | | | |
| (就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) ・ 第三種電気主任技術者 ・ 第一種電気工事士 ・ 第二種電気工事士 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 9人 | 1人 | 11.1% |
| (中途退学の主な理由) 出席不良からの成業不可 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。 | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|---------------------|----|---------------------------|-------------------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 航空学科 昼間制 (2年制) パイロットコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 2484 単位時間 | 0 単位時間 | 180 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (航空学科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (航空学科の内数) | 兼任教員数 (航空学科の内数) | 総教員数 (航空学科の内数) | |
| 20人 | | 2人 | 0人 | 1人 | 14人 | 15人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|---------------------|----|---------------------------|----------------------------|--------------------|--------------------|-----------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 航空学科 昼間制 (2年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 2520 単位時間 | 0 単位時間 | 216 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (航空学科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (航空学科の内数) | 兼任教員数 (航空学科の内数) | 総教員数 (航空学科の内 数) | |
| 20人 | | 2人 | 0人 | 1人 | 14人 | 15人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2024年度 航空学科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 1人 (100%) | 0人 (0%) | 1人 (100%) | 0人 (0%) |
| <p>（主な就職、業界等） 防衛省（航空自衛隊 航空学生/海上自衛隊航空学生/陸上自衛隊幹部候補生/陸上自衛隊一般曹候補生/海上自衛隊 一般曹候補生/航空自衛隊自衛官候補生） 海上保安庁（航空課程）</p> <p>（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。</p> | | | |
| <p>（主な学修成果（資格・検定等）） ・ビジネス能力検定（B検）ジョブパス 2・3級</p> | | | |
| <p>（備考）（任意記載事項）</p> | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 3人 | 0人 | 0% |
| <p>（中途退学の主な理由）</p> | | |
| <p>（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。</p> | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|---------------------|----|---------------------------|------------------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 建築学科 昼間制 (2年制) 建築設計コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 2376 単位時間 | 1296 単位時間 | 342 単位時間 | 1764 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (建築学科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (建築学科の内数) | 兼任教員数 (建築学科の内数) | 総教員数 (建築学科の内数) | |
| 25人 | | 1人 | 1人 | 1人 | 18人 | 19人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) ・授業時間外での特別講座の開催 ・特別講座期間を活用して学修支援授業の実施 ・個別面談、スクールカウンセリングの実施 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|---------------------|----|---------------------------|------------------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 建築学科 昼間制 (2年制) 建築施工コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 2376 単位時間 | 1332 単位時間 | 342 単位時間 | 1764 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (建築学科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (建築学科の内数) | 兼任教員数 (建築学科の内数) | 総教員数 (建築学科の内数) | |
| 25人 | | 3人 | 0人 | 1人 | 18人 | 19人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) ・授業時間外での特別講座の開催 ・特別講座期間を活用して学修支援授業の実施 ・個別面談、スクールカウンセリングの実施 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|---------------------|----|---------------------------|---------------------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 建築学科 昼間制 (2年制) 情報&環境建築コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 2376 単位時間 | 1296 単位時間 | 342 単位時間 | 1764 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (建築学科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (建築学科の内数) | 兼任教員数 (建築学科の内数) | 総教員数 (建築学科の内数) | |
| 25人 | | 0人 | 0人 | 1人 | 18人 | 19人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) ・授業時間外での特別講座の開催 ・特別講座期間を活用して学修支援授業の実施 ・個別面談、スクールカウンセリングの実施 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|---------------------|----|---------------------------|----------------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 建築学科 昼間制 (2年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 2376 単位時間 | 1584 単位時間 | 288 単位時間 | 1800 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (建築学科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (建築学科の内数) | 兼任教員数 (建築学科の内数) | 総教員数 (建築学科の内数) | |
| 25人 | | 6人 | 0人 | 1人 | 18人 | 19人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) ・授業時間外での特別講座の開催 ・特別講座期間を活用して学修支援授業の実施 ・個別面談、スクールカウンセリングの実施 |

2024年度 建築学科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|-------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 5人 (100%) | 2人 (40%) | 3人 (60%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) ナックハウスパートナー株式会社 | | | |
| (就職指導内容) 個人面談、学内企業説明会開催、試験対策講座（SPI・一般常識）、マナー講座、エントリーシート・履歴書添削、模擬面接等 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 建築2級施工管理技士（学科合格）、建築CAD検定、商業施設士補、積算士補 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 13人 | 2人 | 15.4% |
| (中途退学の主な理由) 精神的なもの、経済的問題、学力不足等 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。 | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|-------------------------------|----|---------------------------|---|------------------------------|------------------------------|---------------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | インテリアデザイン科 昼間制 (2年制) インテリアデザインコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1224 単位時間 | 432 単位時間 | 900 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (インテリアデザイン 科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (インテリアデザイ ン科の内数) | 兼任教員数 (インテリアデザイ ン科の内数) | 総教員数 (インテリアデ ザイン科の内 数) | |
| 20人 | | 4人 | 1人 | 1人 | 11人 | 12人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|-------------------------------|----|---------------------------|----------------------------------|------------------------------|------------------------------|---------------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | インテリアデザイン科 昼間制 (2年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1296 単位時間 | 432 単位時間 | 900 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (インテリアデザイン 科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (インテリアデザイ ン科の内数) | 兼任教員数 (インテリアデザイ ン科の内数) | 総教員数 (インテリアデ ザイン科の内 数) | |
| 20人 | | 4人 | 0人 | 1人 | 11人 | 12人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2024年度 インテリアデザイン科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 3人 (100%) | 0人 (0%) | 3人 (100%) | 0人 (0%) |
| （主な就職、業界等） 株式会社エステム建築事務所、有限会社ウォーターワークス笹野 | | | |
| （就職指導内容） 個キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。 | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等）） インテリアコーディネーター、建築CAD検定、色彩士、商業施設士補、積算士補 | | | |
| （備考）（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 6人 | 1人 | 16.7% |
| （中途退学の主な理由） 進路変更、コミュニケーション対応苦手、精神的疾病等 | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。 | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------------------------|----|---------------------------|------------------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------|
| 工業 | | 工業専門課程 | 情報システム科 昼間制 (2年制) ITエンジニアコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1512 単位時間 | 396 単位時間 | 972 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (情報システム科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (情報システム科の 内数) | 兼任教員数 (情報システム科の 内数) | 総教員数 (情報システム 科の内数) | |
| 35人 | | 16人 | 6人 | 2人 | 10人 | 12人 | |

| |
|---|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 科目ごとに半期中間評価を提示し、学年末に総合評価を行う。授業外でプリント・解答練習などで資格取得のサポートを行っている。学生生活指導については、適宜必要に応じて担任・副担任により行い、学生からの相談・面談も随時行う。学内PBLプログラムの紹介など、意欲のある学生への積極的な学習支援を行っている。また、就職指導についてはキャリアセンタと連携して、希望する職種への就職をサポートしている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------------------------|----|---------------------------|-----------------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 情報システム科 昼間制 (2年制) AIシステムコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1296 単位時間 | 396 単位時間 | 972 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (情報システム科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (情報システム科の 内数) | 兼任教員数 (情報システム科の 内数) | 総教員数 (情報システム 科の内数) | |
| 35人 | | 0人 | 0人 | 2人 | 10人 | 12人 | |

| |
|---|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 科目ごとに半期中間評価を提示し、学年末に総合評価を行う。授業外でプリント・解答練習などで資格取得のサポートを行っている。学生生活指導については、適宜必要に応じて担任・副担任により行い、学生からの相談・面談も随時行う。学内PBLプログラムの紹介など、意欲のある学生への積極的な学習支援を行っている。また、就職指導についてはキャリアセンタと連携して、希望する職種への就職をサポートしている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------------------------|----|---------------------------|---------------------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------|
| 工業 | | 工業専門課程 | 情報システム科 昼間制 (2年制) ICT クリエーターコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1296 単位時間 | 396 単位時間 | 972 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (情報システム科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (情報システム科の 内数) | 兼任教員数 (情報システム科の 内数) | 総教員数 (情報システム 科の内数) | |
| 35人 | | 0人 | 0人 | 2人 | 10人 | 12人 | |

| |
|---|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 科目ごとに半期中間評価を提示し、学年末に総合評価を行う。授業外でプリント・解答練習などで資格取得のサポートを行っている。学生生活指導については、適宜必要に応じて担任・副担任により行い、学生からの相談・面談も随時行う。学内PBLプログラムの紹介など、意欲のある学生への積極的な学習支援を行っている。また、就職指導についてはキャリアセンタと連携して、希望する職種への就職をサポートしている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------------------------|----|---------------------------|---|---------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 情報システム科 昼間制 (2年制) ITスペシャリスト・大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1512 単位時間 | 396 単位時間 | 972 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (情報システム科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (情報システム科の 内数) | 兼任教員数 (情報システム科の 内数) | 総教員数 (情報システム 科の内数) | |
| 35人 | | 11人 | 1人 | 2人 | 10人 | 12人 | |

| |
|---|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 科目ごとに半期中間評価を提示し、学年末に総合評価を行う。授業外でプリント・解答練習などで資格取得のサポートを行っている。学生生活指導については、適宜必要に応じて担任・副担任により行い、学生からの相談・面談も随時行う。学内PBLプログラムの紹介など、意欲のある学生への積極的な学習支援を行っている。また、就職指導についてはキャリアセンタと連携して、希望する職種への就職をサポートしている。 |

2024年度 情報システム科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|----------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 19人 (100%) | 16人 (84.2%) | 3人 (15.8%) | 0人 (0%) |
| （主な就職、業界等） システム開発企業 ソフトウェア開発企業 NTT東日本、株式会社Gleeful、株式会社i-Vinci、株式会社インサイト、 大成技研株式会社 等 | | | |
| （就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。 | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等）） 情報処理技術者試験（ITパスポート・基本情報技術者） 情報検定（情報活用検定2級・3級）、ビジネス能力検定2級・3級など ジェネラリスト検定 | | | |
| （備考）（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 34人 | 3人 | 8.8% |
| （中途退学の主な理由） 精神面による体調不良、進路変更、出席不良からの成業不可等 | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。 | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------------------|----|---------------------------|---|---------------------|-------------------------|------------------------|-----------|
| 工業 | | 工業専門課程 | 経営情報科 昼間制 (2年制) やりたいことを仕事にする コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1080 単位時間 | 0 単位時間 | 72 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (経営情報科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (経営情報科の内数) | 兼任教員数 (経営情報科の内 数) | 総教員数 (経営情報科の内 数) | |
| 15人 | | 2人 | 0人 | 1人 | 12人 | 13人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------------------|----|---------------------------|---|---------------------|---------------------|--------------------|-----------|
| 工業 | | 工業専門課程 | 経営情報科 昼間制 (2年制) マネジメントエススパート コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1080 単位時間 | 0 単位時間 | 72 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (経営情報科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (経営情報科の内数) | 兼任教員数 (経営情報科の内数) | 総教員数 (経営情報科の内数) | |
| 15人 | | 1人 | 0人 | 1人 | 12人 | 13人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------------------|----|---------------------------|------------------------------------|---------------------|---------------------|--------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 経営情報科 昼間制 (2年制) SDGs ビジネスコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1080 単位時間 | 0 単位時間 | 72 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (経営情報科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (経営情報科の内数) | 兼任教員数 (経営情報科の内数) | 総教員数 (経営情報科の内数) | |
| 15人 | | 0人 | 0人 | 1人 | 12人 | 13人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------------------|----|---------------------------|-----------------------------|---------------------|---------------------|--------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 経営情報科 昼間制 (2年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1188 単位時間 | 0 単位時間 | 72 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (経営情報科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (経営情報科の内数) | 兼任教員数 (経営情報科の内数) | 総教員数 (経営情報科の内数) | |
| 15人 | | 2人 | 0人 | 1人 | 13人 | 14人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2024年度 経営情報科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|-------------|-------------------|-------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 5人 (100%) | 1人 (20%) | 1人 (20%) | 3人 (60%) |
| <p>（主な就職、業界等） 京王電鉄バス株式会社、アーズ総合開発株式会社、株式会社ワタナベエンターテイメント</p> | | | |
| <p>（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。</p> | | | |
| <p>（主な学修成果（資格・検定等）） リテール・マーケティング（販売士）検定試験、全経簿記能力検定試験、日本語能力試験、Microsoft Office Specialist、簿記検定、FP技能検定、ビジネス能力検定ジョブパス、マナー・プロトコール検定試験</p> | | | |
| <p>（備考）（任意記載事項）</p> | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 11人 | 1人 | 9.1% |
| <p>（中途退学の主な理由） 体調不良により帰国、進路変更（就職）</p> | | |
| <p>（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。</p> | | |

2. 教育活動に係る情報

20

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------------------------|----|---------------------------|-----------------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------|
| 工業 | | 工業専門課程 | ビジネス情報科 昼間制 (2年制) 総合ビジネスコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1080 単位時間 | 0 単位時間 | 72 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (ビジネス情報科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (ビジネス情報科の 内数) | 兼任教員数 (ビジネス情報科の 内数) | 総教員数 (ビジネス情報 科の内数) | |
| 10人 | | 1人 | 1人 | 1人 | 12人 | 13人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------------------------|----|---------------------------|----------------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | ビジネス情報科 昼間制 (2年制) 経営・起業コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1080 単位時間 | 0 単位時間 | 72 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (ビジネス情報科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (ビジネス情報科の 内数) | 兼任教員数 (ビジネス情報科の 内数) | 総教員数 (ビジネス情報 科の内数) | |
| 10人 | | 0人 | 0人 | 1人 | 12人 | 13人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------------------------|----|---------------------------|-------------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | ビジネス情報科 昼間制 (2年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1188 単位時間 | 0 単位時間 | 72 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (ビジネス情報科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (ビジネス情報科の 内数) | 兼任教員数 (ビジネス情報科の 内数) | 総教員数 (ビジネス情報 科の内数) | |
| 10人 | | 5人 | 0人 | 1人 | 14人 | 15人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

経営情報科からの学科名称変更 > ビジネス情報科

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|----------|-------------------|----------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| まだ卒業生は居ません （%） | 人 （%） | 人 （%） | 人 （%） |
| （主な就職、業界等） | | | |
| <p>（就職指導内容）</p> <p>キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。</p> | | | |
| <p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>リテール・マーケティング（販売士）検定試験、全経簿記能力検定試験、日本語能力試験、Microsoft Office Specialist、簿記検定、FP技能検定、ビジネス能力検定ジョブパス、マナー・プロトコール検定試験</p> | | | |
| （備考）（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|---|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 人 | 人 | % |
| （中途退学の主な理由） | | |
| <p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。</p> | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------------------|----|---------------------------|-------------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 法律情報科 昼間制 (2年制) 法律情報コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 3168 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (法律情報科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (法律情報科の内 数) | 兼任教員数 (法律情報科の内 数) | 総教員数 (法律情報科の内 数) | |
| 25人 | | 1人 | 1人 | 1人 | 16人 | 17人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------------------|----|---------------------------|-----------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 法律情報科 昼間制 (2年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 3852 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (法律情報科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (法律情報科の内 数) | 兼任教員数 (法律情報科の内 数) | 総教員数 (法律情報科の内 数) | |
| 25人 | | 10人 | 0人 | 1人 | 18人 | 19人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2024年度 法律情報科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|---------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 6人 (100%) | 5人 (83.3%) | 1人 (16.7%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) 朝日リビング株式会社 | | | |
| (就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 宅地建物取引士資格試験、全経簿記検定試験、Microsoft Office Specialist 試験、マナー・プロトコール検定試験 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 14人 | 1人 | 7.1% |
| (中途退学の主な理由) | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。 | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------|----|---------------------------|------------------------|-------------|--------------|-----------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 大学併修学科 昼間制 (4年制) | | ○ | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 4年 | 昼 | 3 4 5 6 単位時間 | 9720 単位時間 | 288 単位時間 | 2700 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 75人 | | 118人 | 4人 | 2人 | 16人 | 18人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) クラス担任制 各種資格対策授業の支援 キャリアセンターと担任による就職支援 カウンセラーによるサポート 海外研修・留学支援 大学(通信教育課程)科目のレポート・科目修得試験の支援 |

2024年度 大学併修学科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|------------|-------------------|----------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 73人 (100%) | 0人 (0%) | 60人 (82.2%) | 13人 (17.8%) |
| <p>（主な就職、業界等）</p> <p>株式会社ワイドレジャー、株式会社エムアイティギャザリング、株式会社ダックスプロダクション、BAMV 合同会社、UTM 株式会社 ソプラ株式会社、テラテクノロジー株式会社、ノジマ株式会社、ベース株式会社 水ing 株式会社、株式会社アップロード、株式会社エスユーセス 株式会社エネアーク関東、株式会社オープンアップシステム 株式会社オープンアップシステム、株式会社サミット、自衛隊幹部候補生他等</p> | | | |
| <p>（就職指導内容）</p> <p>就職ガイダンス、個人指導及び就職対策講座、実践指導（模擬面接・会社訪問指導）をホームルームとキャリアセンターと共同で実施</p> | | | |
| <p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>簿記検定、リテール・マーケティング販売士検定、ビジネス能力検定（B 検）、Microsoft Office Specialist、宅地建物取引士、行政書士</p> | | | |
| <p>（備考）（任意記載事項）</p> | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|---|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 134人 | 8人 | 6.0% |
| <p>（中途退学の主な理由）</p> <p>進路変更（進学、就職）、体調不良（精神疾患）、経済的な問題等</p> | | |
| <p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。</p> | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|--------------------------------|----|---------------------------|---------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) イベント企画コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1890 位時間 | 0 単位時間 | 1080 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (コンサート・イベン ト科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数) | 兼任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数) | 総教員数 (コンサート・イ ベント科の内数) | |
| 45人 | | 3人 | 0人 | 1人 | 5人 | 6人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|--------------------------------|----|---------------------------|---------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) ステージ制作コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1818 単位時間 | 0 単位時間 | 1080 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (コンサート・イベント 科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数) | 兼任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数) | 総教員数 (コンサート・イ ベント科の内数) | |
| 45人 | | 6人 | 2人 | 1人 | 7人 | 8人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|--------------------------------|------|---------------------------|---------------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-----------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) ステージ音響コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1818 単位時間 | 0 単位時間 | 1080 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (コンサート・イベント 科の内数) | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (コンサート・イベン ト科の内数) | 兼任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数) | 総教員数 (コンサート・イ ベント科の内数) | | |
| 45人 | 2人 | 0人 | 1人 | 6人 | 7人 | | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|--------------------------------|----|---------------------------|---------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) ステージ照明コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 2070 単位時間 | 0 単位時間 | 1080 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (コンサート・イベント 科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (コンサート・イベン ト科の内数) | 兼任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数) | 総教員数 (コンサート・イ ベント科の内数) | |
| 45人 | | 5人 | 0人 | 1人 | 5人 | 6人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|--------------------------------|----|---------------------------|--|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) イベントビジネス・大学 コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 2718 単位時間 | 0 単位時間 | 1296 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (コンサート・イベント 科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (コンサート・イベン ト科の内数) | 兼任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数) | 総教員数 (コンサート・イ ベント科の内数) | |
| 45人 | | 15人 | 0人 | 1人 | 17人 | 18人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2024年度 コンサート・イベント科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|---------------|-------------------|--------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 11人 (100%) | 3人 (27.3%) | 7人 (63.6%) | 1人 (9.0%) |
| <p>（主な就職、業界等） 音楽イベント業界 株式会社 Immortal (Junno'sTable)、株式会社 KM ステーション、株式会社 NUGGETS、 株式会社バンケットプランニング、株式会社ローソンエンタテインメント、 株式会社 Dort、株式会社 Suncrow、株式会社東京スタッフ</p> | | | |
| <p>（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。</p> | | | |
| <p>（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコル検定、足場組立等作業、フルハーネス型墜落制止用器具</p> | | | |
| <p>（備考）（任意記載事項）</p> | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 34人 | 8人 | 23.5% |
| <p>（中途退学の主な理由） 体調不良（精神疾患） 出席不良からの成業不可</p> | | |
| <p>（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。</p> | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------------------------|----|---------------------------|------------------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | 映像メディア学科 昼間制 (2年制) 放送メディアコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 3456 単位時間 | 0 単位時間 | 2232 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (映像メディア科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (映像メディア科の 内数) | 兼任教員数 (映像メディア科の 内数) | 総教員数 (映像メディア 科の内数) | |
| 35人 | | 5人 | 0人 | 1人 | 21人 | 22人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------------------------|----|---------------------------|--------------------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | 映像メディア学科 昼間制 (2年制) 動画クリエイターコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 3494 単位時間 | 0 単位時間 | 2592 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (映像メディア科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (映像メディア科の 内数) | 兼任教員数 (映像メディア科の 内数) | 総教員数 (映像メディア 科の内数) | |
| 35人 | | 2人 | 0人 | 1人 | 21人 | 22人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------------------------|----|---------------------------|---------------------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | 映像メディア学科 昼間制 (2年制) 映像ビジネス・大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 3456 単位時間 | 0 単位時間 | 2592 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (映像メディア科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (映像メディア科の 内数) | 兼任教員数 (映像メディア科の 内数) | 総教員数 (映像メディア 科の内数) | |
| 35人 | | 14人 | 0人 | 1人 | 21人 | 22人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2024年度 映像メディア学科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|---------------|-------------------|---------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 9人 (100%) | 2人 (22.2%) | 3人 (33.3%) | 4人 (44.4%) |
| <p>（主な就職、業界等）</p> <p>株式会社三和交通統轄本部、株式会社629アーカイブス、株式会社キタムラ 株式会社コスモ・スペース、株式会社ザ・カーラズ、株式会社ビデオウイング 川本工業株式会社 等</p> | | | |
| <p>（就職指導内容）</p> <p>キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。</p> | | | |
| <p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>マナー・プロトコル検定、映像音響処理技術者資格認定試験、足場の組立て等作業従事者特別教育、フルハーネス型墜落制止用器具特別教育</p> | | | |
| <p>（備考）（任意記載事項）</p> | | | |

| 中途退学の現状 ※2024年度 映像メディア学科の状況 | | |
|---|----------------|-------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 21人 | 4人 | 19.0% |
| <p>（中途退学の主な理由）</p> <p>進路変更、学力不足 等</p> | | |
| <p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。</p> | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------------------|----|---------------------------|-------------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|----|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | 音響芸術科 昼間制 (2年制) 音響芸術コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 単位 時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 | |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (音響芸術科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (音響芸術科の内 数) | 兼任教員数 (音響芸術科の内 数) | 総教員数 (音響芸術科の 内数) | |
| 30人 | | 6人 | 1人 | 1人 | 12人 | 13人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------------------|----|---------------------------|-----------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | 音響芸術科 昼間制 (2年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | 単位時間 | 単位時間 | 単位時間 | 単位時間 | 単位時間 |
| 生徒総定員数 (音響芸術科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (音響芸術科の内 数) | 兼任教員数 (音響芸術科の内 数) | 総教員数 (音響芸術科の内 数) | |
| 30人 | | 7人 | 0人 | 1人 | 12人 | 13人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2024年度 音響芸術科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|-------------|-------------------|---------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 12人 (100%) | 3人 (25%) | 5人 (41.7%) | 4人 (33.3%) |
| <p>（主な就職、業界等）</p> <p>音響関連 studio dede、株式会社 Studio tanta、株式会社スタジオヴォルン 株式会社 TBS アクト、株式会社 ケイブックス、株式会社 ボストン 株式会社 メディア 22 世紀、匠合同会社</p> | | | |
| <p>（就職指導内容）</p> <p>キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。</p> | | | |
| <p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>マナー・プロトコル検定、映像音響処理技術者資格認定試験、サウンドレコーディング技術認定試験、Pro Tool 技術認定試験</p> | | | |
| <p>（備考）（任意記載事項）</p> | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|---|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 20人 | 4人 | 20% |
| <p>（中途退学の主な理由）</p> <p>進路変更（就職） 体調不良（精神疾患）</p> | | |
| <p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。</p> | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|------------------------------|----|---------------------------|---------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | CGクリエイター科 昼間制 (2年制) CGクリエイターコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 432 単位時間 | 0 単位時間 | 2196 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (CGクリエイター科 の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (CGクリエイター 科の内数) | 兼任教員数 (CGクリエイター 科の内数) | 総教員数 (CGクリエイ ター科の内数) | |
| 25人 | | 3人 | 1人 | 1人 | 7人 | 8人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|------------------------------|----|---------------------------|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | CGクリエイター科 昼間制 (2年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 648 単位時間 | 0 単位時間 | 2016 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (CGクリエイター科 の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (CGクリエイター 科の内数) | 兼任教員数 (CGクリエイター 科の内数) | 総教員数 (CGクリエイ ター科の内数) | |
| 25人 | | 10人 | 0人 | 1人 | 7人 | 8人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2024年度 CGクリエイター科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|---------------|-------------------|---------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 7人 (100%) | 4人 (57.1%) | 0人 (0%) | 3人 (42.9%) |
| （主な就職、業界等） | | | |
| （就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。 | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定3級 | | | |
| （備考）（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 14人 | 1人 | 7.1% |
| （中途退学の主な理由） 進路変更 | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。 | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------------------|----|---------------------------|-------------------------------------|---------------------|---------------------|--------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | デザイン科 昼間制 (2年制) グラフィックデザインコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 630 単位時間 | 72 単位時間 | 2556 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (デザイン科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (デザイン科の内数) | 兼任教員数 (デザイン科の内数) | 総教員数 (デザイン科の内数) | |
| 30人 | | 3人 | 0人 | 1人 | 13人 | 14人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------------------|----|---------------------------|----------------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | デザイン科 昼間制 (2年制) WEBデザインコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 558 単位時間 | 108 単位時間 | 2916 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (デザイン科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (デザイン科の内 数) | 兼任教員数 (デザイン科の内 数) | 総教員数 (デザイン科の内 数) | |
| 30人 | | 4人 | 0人 | 1人 | 14人 | 15人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------------------|----|---------------------------|-----------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | デザイン科 昼間制 (2年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 522 単位時間 | 108 単位時間 | 2988 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (デザイン科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (デザイン科の内 数) | 兼任教員数 (デザイン科の内 数) | 総教員数 (デザイン科の 内数) | |
| 30人 | | 5人 | 0人 | 1人 | 16人 | 17人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2024年度 デザイン科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|---------------|-------------------|---------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 6人 (100%) | 4人 (66.6%) | 1人 (16.7%) | 1人 (16.7%) |
| (主な就職、業界等) 株式会社カオルデザイン | | | |
| (就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 色彩検定3級、コミュニケーションマナー検定 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 16人 | 3人 | 18.8% |
| (中途退学の主な理由) 体調不良、進路変更等 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。 | | |

2. 教育活動に係る情報

4 1

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|---------------------------|----|---------------------------|------------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | 声優・演劇科 昼間制 (2年制) 声優コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 504 単位時間 | 0 単位時間 | 3060 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (声優・演劇科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (声優・演劇科の内 数) | 兼任教員数 (声優・演劇科の内 数) | 総教員数 (声優・演劇科 の内数) | |
| 25人 | | 1人 | 0人 | 2人 | 12人 | 14人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|---------------------------|----|---------------------------|------------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | 声優・演劇科 昼間制 (2年制) 俳優コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 504 単位時間 | 0 単位時間 | 3060 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (声優・演劇科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (声優・演劇科の内 数) | 兼任教員数 (声優・演劇科の内 数) | 総教員数 (声優・演劇科 の内数) | |
| 25人 | | 9人 | 0人 | 2人 | 12人 | 14人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------|------|---------------------------|------------------------------|--------------------------|-------------------------|-----------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | 声優・演劇科 昼間制 (2年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 684 単位時間 | 0 単位時間 | 3060 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 25 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (声優・演劇科の内 数) | 兼任教員数 (声優・演劇科の内 数) | 総教員数 (声優・演劇科 の内数) | | |
| 25人 | 3人 | 0人 | 2人 | 12人 | 14人 | | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2024年度 声優・演劇科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|---------------|-------------------|---------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 7人 (100%) | 4人 (57.1%) | 1人 (14.3%) | 2人 (28.6%) |
| (主な就職、業界等) 劇団、プロダクション等 | | | |
| (就職指導内容) 入学直後からオーディション対策講座を開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの理解への意識付けと、俳優、声優として必要な業界理解を行う。また、模擬オーディションと並行し、就職希望者にも対応するべく、キャリアセンターと協力し、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導、小論文や履歴書添削も行い、就職希望者に備える。また、2年時には学内に企業を呼んでの所属オーディションを受け、キャリアについて万全な体制で挑んでいる。 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) マナー・プロトコール検定 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 15人 | 0人 | 0% |
| (中途退学の主な理由) | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。 | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|------------------------------|----|---------------------------|--|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツトレーナーコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 2502 単位時間 | 576 単位時間 | 1764 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (スポーツビジネス科 の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (スポーツビジネス 科の内数) | 兼任教員数 (スポーツビジネス 科の内数) | 総教員数 (スポーツビジ ネス科の内数) | |
| 30人 | | 3人 | 0人 | 1人 | 15人 | 20人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|------------------------------|----|---------------------------|---|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツインストラクター コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 2754 単位時間 | 576 単位時間 | 1836 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (スポーツビジネス科 の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (スポーツビジネス 科の内数) | 兼任教員数 (スポーツビジネス 科の内数) | 総教員数 (スポーツビジ ネス科の内数) | |
| 30人 | | 0人 | 0人 | 1人 | 15人 | 20人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|------------------------------|------|---------------------------|---|-----------------------------|----------------------------|------|------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツマネジメント コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 2790 単位時間 | 576 単位時間 | 1512 位時間 | 単位時間 | 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (スポーツビジネス科 の内数) | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (スポーツビジネス 科の内数) | 兼任教員数 (スポーツビジネス 科の内数) | 総教員数 (スポーツビジ ネス科の内数) | | |
| 30人 | 2人 | 0人 | 1人 | 15人 | 20人 | | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|------------------------------|------|---------------------------|---|-----------------------------|----------------------------|-----------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) サッカーエキスパート コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 2160 単位時間 | 576 単位時間 | 2088 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (スポーツビジネス科 の内数) | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (スポーツビジネス 科の内数) | 兼任教員数 (スポーツビジネス 科の内数) | 総教員数 (スポーツビジ ネス科の内数) | | |
| 30人 | 3人 | 0人 | 1人 | 14人 | 20人 | | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|------------------------------|----|---------------------------|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 3366 単位時間 | 576 単位時間 | 2592 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (スポーツビジネス科 の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (スポーツビジネス 科の内数) | 兼任教員数 (スポーツビジネス 科の内数) | 総教員数 (スポーツビジ ネス科の内数) | |
| 30人 | | 18人 | 0人 | 1人 | 17人 | 20人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2024年度 スポーツビジネス科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|-------------|-------------------|-------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 10人 (100%) | 7人 (70%) | 2人 (20%) | 1人 (10%) |
| (主な就職、業界等) 株式会社森ビルホスピタリティコーポレーション 株式会社ファクトリージャパングループ、自衛隊候補生 | | | |
| (就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 健康運動実践指導者、GFI、BLS（一次救命）、販売士（ビジネスマナー）、MOS（パソコン検定）、マナープロトコール検定、サッカーC級指導者ライセンス、 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 18人 | 1人 | 5.5% |
| (中途退学の主な理由) 出席不良からの成業不可 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。 | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------------------------|----|---------------------------|--|---------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | ミュージック科 昼間制 (2年制) ヴォーカル&シンガーソングライターコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1116 単位時間 | 0 単位時間 | 3780 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (ミュージック科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (ミュージック科の 内数) | 兼任教員数 (ミュージック科の 内数) | 総教員数 (ミュージック 科の内数) | |
| 25人 | | 1人 | 0人 | 1人 | 18人 | 19人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------------------------|----|---------------------------|----------------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | ミュージック科 昼間制 (2年制) プレイヤーコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 864 単位時間 | 0 単位時間 | 4500 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (ミュージック科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (ミュージック科の 内数) | 兼任教員数 (ミュージック科の 内数) | 総教員数 (ミュージック 科の内数) | |
| 25人 | | 2人 | 0人 | 1人 | 18人 | 19人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------------------------|----|---------------------------|--------------------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | ミュージック科 昼間制 (2年制) サウンドデザイナーコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1044 単位時間 | 0 単位時間 | 3132 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (ミュージック科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (ミュージック科の 内数) | 兼任教員数 (ミュージック科の 内数) | 総教員数 (ミュージック 科の内数) | |
| 25人 | | 3人 | 0人 | 1人 | 18人 | 19人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------------------------|----|---------------------------|-------------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | ミュージック科 昼間制 (2年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1908 単位時間 | 0 単位時間 | 5616 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (ミュージック科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (ミュージック科の 内数) | 兼任教員数 (ミュージック科の 内数) | 総教員数 (ミュージック 科の内数) | |
| 25人 | | 4人 | 0人 | 1人 | 18人 | 19人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2024年度 ミュージック科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|---------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 6人 (100%) | 2人 (33.3%) | 4人 (66.7%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) 音楽業界 株式会社アズパートナーズ | | | |
| (就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) マナー・プロトコール検定 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 17人 | 7人 | 41.2% |
| (中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、精神疾患、対中不良、音信不通等 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。 | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|-------------------------------|----|---------------------------|---|------------------------------|------------------------------|---------------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | ゲームクリエイター科 昼間制 (2年制) ゲームクリエイターコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 792 単位時間 | 0 単位時間 | 2484 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (ゲームクリエイター 科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (ゲームクリエイター 科の内数) | 兼任教員数 (ゲームクリエイター 科の内数) | 総教員数 (ゲームクリエ ーター科の内 数) | |
| 35人 | | 5人 | 1人 | 1人 | 11人 | 12人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|-------------------------------|------|---------------------------|---|------------------------------|---------------------------------|----------|----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | ゲームクリエイター科 昼間制（2年制） おもちゃクリエイター コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単時間 | 720 単時間 | 0 単時間 | 2376 単時間 | 0 単時間 | 0 単時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (ゲームクリエイター 科の内数) | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (ゲームクリエイター 科の内数) | 兼任教員数 (ゲームクリエイター 科の内数) | 総教員数 (ゲームクリエ ーター科の内 数) | | |
| 35人 | 0人 | 0人 | 1人 | 11人 | 12人 | | |

| |
|--|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| （概要） 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|-------------------------------|----|---------------------------|----------------------------------|------------------------------|------------------------------|---------------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | ゲームクリエイター科 昼間制 (2年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1044 単位時間 | 0 単位時間 | 3708 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (ゲームクリエイター 科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (ゲームクリエイター 科の内数) | 兼任教員数 (ゲームクリエイター 科の内数) | 総教員数 (ゲームクリエ ーター科の内 数) | |
| 35人 | | 13人 | 0人 | 1人 | 11人 | 12人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2024年度 ゲームクリエイター科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|-------------|-------------------|-------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 8人 (100%) | 4人 (50%) | 2人 (25%) | 2人 (25%) |
| (主な就職、業界等) 株式会社ジェネシス、岩通ソフトシステム株式会社 | | | |
| (就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) ・C、C++言語などのプログラムスキル、・3DCG、イラストの制作スキル・企画書、仕様書の制作スキル、・ゲームエンジンでの制作スキル・DTMでのサウンド制作スキル、・プレゼンテーションスキルなどの修得 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 21人 | 2人 | 12% |
| (中途退学の主な理由) 帰国、成業不可 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。 | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|-----------------------------|----|---------------------------|-------------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|-----------|
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) アニメーションコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1260 単位時間 | 0 単位時間 | 4032 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (アニメ・マンガ科の 内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (アニメ・マンガ 科の内数) | 兼任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数) | 総教員数 (アニメ・マン ガ科の内数) | |
| 25人 | | 4人 | 1人 | 1人 | 12人 | 13人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|-----------------------------|----|---------------------------|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) マンガコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1368 単位時間 | 0 単位時間 | 3780 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (アニメ・マンガ科の 内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数) | 兼任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数) | 総教員数 (アニメ・マン ガ科の内数) | |
| 25人 | | 3人 | 0人 | 1人 | 12人 | 13人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|-----------------------------|----|---------------------------|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) イラストレーションコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1836 単位時間 | 0 単位時間 | 3852 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (アニメ・マンガ科の 内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数) | 兼任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数) | 総教員数 (アニメ・マン ガ科の内数) | |
| 25人 | | 1人 | 0人 | 1人 | 12人 | 13人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|-----------------------------|----|---------------------------|--------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 文化教養 | | 芸術専門課程 | アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1440 単位時間 | 0 単位時間 | 4248 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (アニメ・マンガ科の 内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数) | 兼任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数) | 総教員数 (アニメ・マン ガ科の内数) | |
| 25人 | | 8人 | 0人 | 1人 | 12人 | 13人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。 |

2024年度 アニメ・マンガ科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|---------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 11人 (100%) | 8人 (72.7%) | 3人 (27.3%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) 株式会社富嶽、株式会社 Typhoon グラフィックス、アニメーション制作会社 | | | |
| (就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 17人 | 2人 | 11.8% |
| (中途退学の主な理由) 体調不良、精神疾患 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。 | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------------------|----|---------------------------|----------------------------------|---------------------|---------------------|--------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 教育・社会福祉 | | 教育・福祉 専門課程 | 教育専攻科 昼間制 (4年制) 幼稚園教諭1種コース | | ○ | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 4年 | 昼 | 3 4 5 6 単位時間 | 4968 単位時間 | 2052 単位時間 | 2736 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (教育専攻科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (教育専攻科の内数) | 兼任教員数 (教育専攻科の内数) | 総教員数 (教育専攻科の内数) | |
| 20人 | | 1人 | 0人 | 2人 | 11人 | 13人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 全授業36回のうち、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。また、進路指導、学外活動(地域ボランティアや教育実習の開拓サポート)の紹介から学修支援をしている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------------------|----|---------------------------|----------------------------------|---------------------|---------------------|--------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 教育・社会福祉 | | 教育・福祉 専門課程 | 教育専攻科 昼間制 (4年制) 小学校教諭1種コース | | ○ | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 4年 | 昼 | 3 4 5 6 単位時間 | 5148 単位時間 | 2052 単位時間 | 3132 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (教育専攻科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (教育専攻科の内数) | 兼任教員数 (教育専攻科の内数) | 総教員数 (教育専攻科の内数) | |
| 20人 | | 1人 | 0人 | 2人 | 11人 | 13人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| 全授業36回のうち、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。また、進路指導、学外活動(地域ボランティアや教育実習の開拓サポート)の紹介から学修支援をしている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|----------------------|----|---------------------------|-----------------------------------|---------------------|---------------------|--------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 教育・社会福祉 | | 教育・福祉 専門課程 | 教育専攻科 昼間制 (4年制) 保健体育教諭1種コース | | ○ | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 4年 | 昼 | 3 4 5 6 単位時間 | 5 1 8 4 単位時間 | 1 6 2 0 単位時間 | 1 8 3 6 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (教育専攻科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (教育専攻科の内数) | 兼任教員数 (教育専攻科の内数) | 総教員数 (教育専攻科の内数) | |
| 20人 | | 3人 | 0人 | 2人 | 11人 | 13人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 全授業36回のうち、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。また、進路指導、学外活動(地域ボランティアや教育実習の開拓サポート)の紹介から学修支援をしている。 |

2024年度 教育専攻科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|------------|-------------------|---------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 4人 (100%) | 0人 (0%) | 4人 (100%) | 0人 (66.7%) |
| （主な就職、業界等） 社会福祉法人 国立保育会 | | | |
| （就職指導内容） 小論文、学習指導案添削、集団面接、個人面接、地域ボランティア（地域連携）、SPI、履歴書指導 | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等）） 幼稚園教諭第1種免許、中高保健体育教諭第1種免許 学士 | | | |
| （備考）（任意記載事項） 幼稚園教諭1種。免許は、姫路大学との併修により取得。 中高保健体育教諭第1種免許は、星槎大学との併修により取得。 | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 5人 | 0人 | 0% |
| （中途退学の主な理由） 出席不良からの成業不可 | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。 | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------------------|----|---------------------------|---------------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|-----------|
| 教育・社会福祉 | | 教育・福祉 専門課程 | こども学科 昼間制 (3年制) こども英語 コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 2592 単位時間 | 1836 単位時間 | 3168 単位時間 | 936 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (こども学科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (こども学科の内 数) | 兼任教員数 (こども学科の内 数) | 総教員数 (こども学科の内 数) | |
| 10人 | | 0人 | 0人 | 1人 | 16人 | 17人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぽ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------------------|----|---------------------------|---------------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|-----------|
| 教育・社会福祉 | | 教育・福祉 専門課程 | こども学科 昼間制 (3年制) こども音楽 コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 2592 単位時間 | 1836 単位時間 | 3240 単位時間 | 936 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (こども学科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (こども学科の内 数) | 兼任教員数 (こども学科の内 数) | 総教員数 (こども学科の内 数) | |
| 10人 | | 2人 | 0人 | 1人 | 16人 | 17人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぽ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------------------|----|---------------------------|-----------------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|-----------|
| 教育・社会福祉 | | 教育・福祉 専門課程 | こども学科 昼間制 (3年制) こどもスポ ーツコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 2592 単位時間/単位 | 1944 単位時間 | 3312 単位時間 | 936 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (こども学科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (こども学科の内 数) | 兼任教員数 (こども学科の内 数) | 総教員数 (こども学科の内 数) | |
| 10人 | | 0人 | 0人 | 1人 | 16人 | 17人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぱ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------------------|----|---------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|-----------|
| 教育・社会福祉 | | 教育・福祉 専門課程 | こども学科 昼間制 (3年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 2592 単位時間/単位 | 1944 単位時間 | 3600 単位時間 | 900 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (こども学科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (こども学科の内 数) | 兼任教員数 (こども学科の内 数) | 総教員数 (こども学科の内 数) | |
| 10人 | | 0人 | 0人 | 1人 | 16人 | 17人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぱ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。 |

2024年度 こども学科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|-------------|-------------------|-------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 2人 (100%) | 1人 (50%) | 0人 (0%) | 1人 (50%) |
| <p>（主な就職、業界等）</p> <p>障害児へのスポーツ指導</p> | | | |
| <p>（就職指導内容）</p> <p>現場実習における依頼の段階から就職活動がスタートしているという意識付けをしている。 現場実習中の取り組む姿勢や子どもとの関わり方が評価され、卒業後に実習先へ就職するケースが多い。</p> | | | |
| <p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>保育士資格、幼稚園教諭2種免許、キャンプインストラクター、BLS（心肺蘇生法）</p> | | | |
| <p>（備考）（任意記載事項）</p> <p>保育士資格や幼稚園教諭2種免許は、豊岡短期大学との併修により取得。</p> | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|---|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 5人 | 1人 | 20% |
| <p>（中途退学の主な理由）</p> <p>学習意欲の低下</p> | | |
| <p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。</p> | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|---------------------------|----|---------------------------|------------------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|-----------|
| 教育・社会福祉 | | 教育・福祉 専門課程 | 幼児保育学科 昼間制 (2年制) 保育士・幼稚園教諭2種コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1584 単位時間 | 2772 単位時間 | 540 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (幼児保育学科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (幼児保育学科の内 数) | 兼任教員数 (幼児保育学科の内 数) | 総教員数 (幼児保育学科 の内数) | |
| 40人 | | 1人 | 0人 | 6人 | 14人 | 20人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 指定保育士養成施設としての認定学科。卒業時に本校より保育士資格の授与が可能。豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぽ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|---------------------------|----|---------------------------|------------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 教育・社会福祉 | | 教育・福祉 専門課程 | 幼児保育学科 昼間制 (2年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1476 単位時間 | 1980 単位 時間 | 396 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (幼児保育学科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (幼児保育学科の内 数) | 兼任教員数 (幼児保育学科の内 数) | 総教員数 (幼児保育学科 の内数) | |
| 40人 | | 1人 | 0人 | 6人 | 14人 | 20人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 併修先の大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぽ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。 |

2024年度 幼児保育学科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|-------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 4人 (100%) | 1人 (25%) | 3人 (75%) | 0人 (0%) |
| （主な就職、業界等） 株式会社学研ホールディングス・株）グローバルキッズ・社福）聖光会 | | | |
| （就職指導内容） 現場実習の依頼の段階から就職活動がスタートしていると意識付けをしている。 現場実習中の取り組む姿勢や子どもとの関わり方が評価され、卒業後に実習先へ就職するケースが多い。 | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等）） 保育士資格、キャンプインストラクター、BLS（心肺蘇生法） | | | |
| （備考）（任意記載事項） 幼稚園教諭2種免許は、豊岡短期大学との併修により取得。 | | | |

| 中途退学の現状 ※2024年度 幼児保育学科の状況 | | |
|---|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 6人 | 0人 | 0% |
| （中途退学の主な理由） | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。 | | |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|------------|-------------------|---------------|
| ※2022年度 幼児教育学科の状況 | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 5人 (100%) | 0人 (0%) | 4人 (80.0%) | 1人 (20.0%) |
| (主な就職、業界等) AIAI チャイルドケア株式会社 株式会社こどもの森 二葉むさしヶ丘学園 | | | |
| (就職指導内容) 現場実習の依頼の段階から就職活動がスタートしていると意識付けをしている。 現場実習中の取り組む姿勢や子どもとの関わり方が評価され、卒業後に実習先へ就職するケースが多い。 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 保育士資格、キャンプインストラクター、BLS（心肺蘇生法） | | | |
| (備考)（任意記載事項） 幼稚園教諭2種免許は、豊岡短期大学との併修により取得。 | | | |

| 中途退学の現状 ※2022年度 幼児教育学科の状況 | | |
|---|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 6人 | 0人 | 0% |
| (中途退学の主な理由) | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。 | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|---------------------------|----|---------------------------|-----------------------------------|--------------------|--------------------|-----------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 教育・社会福祉 | | 教育・福祉 専門課程 | こども科 昼間制（2年 制）保育士・幼稚園教諭 コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 720 単位時間 | 1008 単位時間 | 180 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (幼児保育学科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (こども科の内数) | 兼任教員数 (こども科の内数) | 総教員数 (こども科の内 数) | |
| 40人 | | 2人 | 0人 | 6人 | 14人 | 20人 | |

| |
|--|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| （概要） 指定保育士養成施設としての認定学科。卒業時に本校より保育士資格の授与が可能。 豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぱ保育園や近隣の保育園に向けた子育て応援サークル「ちびっこだんぶり」やゼミ企画で在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。 指定保育士養成施設としての認定学科。卒業時に本校より保育士資格の授与が可能。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|---|----|---------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|-----------|
| 教育・社会福祉 | | 教育・福祉 専門課程 | こども科 昼間制（2年 制）こどもキャリアコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 702 単位時間 | 1008 単位時間 | 180 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 <small>（幼児保育学科の内 数）</small> | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 <small>（こども科の内数）</small> | 兼任教員数 <small>（こども科の内数）</small> | 総教員数 <small>（こども科の内 数）</small> | |
| 40人 | | 2人 | 0人 | 6人 | 14人 | 20人 | |

| |
|--|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照 |
| 学修支援等 |
| （概要） 指定保育士養成施設としての認定学科。卒業時に本校より保育士資格の授与が可能。 豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。 また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぽ保育園や近隣の保育園に向けた子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」やゼミ企画で在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|---------------------------|----|---------------------------|----------------------------------|--------------------|--------------------|-----------------------|-----------|
| 教育・社会福祉 | | 教育・福祉 専門課程 | こども科 昼間制（2年 制）小学校教諭・大学 コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 774 単位時間 | 1008 単位時間 | 180 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (幼児保育学科の内 数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (こども科の内数) | 兼任教員数 (こども科の内数) | 総教員数 (こども科の内 数) | |
| 40人 | | 1人 | 0人 | 6人 | 14人 | 20人 | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 （概要） 指定保育士養成施設としての認定学科。卒業時に本校より保育士資格の授与が可能。豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぽ保育園や近隣の保育園に向けた子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」やゼミ企画で在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。 |

2024年度 こども科（幼児保育学科からの科名変更）

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|----------|-------------------|----------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| まだ卒業生がでていません （%） | 人 （%） | 人 （%） | 人 （%） |
| （主な就職、業界等） | | | |
| （就職指導内容） 現場実習の依頼の段階から就職活動がスタートしていると意識付けをしている。 現場実習中の取り組む姿勢や子どもとの関わり方が評価され、卒業後に実習先へ就職するケースが多い。 | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等）） 保育士資格、キャンプインストラクター、BLS（心肺蘇生法） | | | |
| （備考）（任意記載事項） 幼稚園教諭2種免許は、豊岡短期大学との併修により取得。 | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|---|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 人 | 人 | % |
| （中途退学の主な理由） | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、 学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。 | | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|---------------------|----|---------------------------|-----------------------------|--------------------|--------------------|-----------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 教育・社会福祉 | | 教育・福祉 専門課程 | 公務員科 昼間制 (2年制) 公務員コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1944 単位時間 | 0 単位時間 | 108 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (公務員科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (公務員科の内数) | 兼任教員数 (公務員科の内数) | 総教員数 (公務員科の内 数) | |
| 15人 | | 2人 | 0人 | 1人 | 12人 | 13人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| | | | | | | | |
|---------------------|----|---------------------------|----------------------------|--------------------|--------------------|-----------------------|-----------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 教育・社会福祉 | | 教育・福祉 専門課程 | 公務員科 昼間制 (2年制) 大学コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1728 単位時間 | 1944 単位時間 | 0 単位時間 | 36 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | | 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員数 (公務員科の内数) | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 (公務員科の内数) | 兼任教員数 (公務員科の内数) | 総教員数 (公務員科の内 数) | |
| 15人 | | 1人 | 0人 | 1人 | 12人 | 13人 | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 |
| 学修支援等 |
| (概要) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。 |

2024年度 公務員科として

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 3人 (100%) | 0人 (0%) | 3人 (100%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) 株式会社エイジック、株式会社ケア 21(たのしい家 武蔵府中) | | | |
| (就職指導内容) ・授業時や本校キャリアセンターにおける面接・マナー指導や履歴書添削 ・職場見学や自衛隊説明会の実施 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) ・ビジネス能力検定（B検）ジョブパス 2・3級 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|---|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 4人 | 1人 | 25% |
| (中途退学の主な理由) 進路変更 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。 | | |

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料(年間) | その他 | 備考(任意記載事項) |
|---|-----------|-----------|-----------|----------------------------|
| 電気電子学科 昼間制 (2年制) 電気工学コース 電子技術コース 大学コース | 200,000 円 | 650,000 円 | 330,000 円 | |
| 航空学科 昼間制 (2年制) パイロットコース 大学コース | 200,000 円 | 670,000 円 | 330,000 円 | |
| 建築学科 昼間制 (2年制) 建築設計コース 建築施工コース 情報&環境建築コース 一級建築士・大学コース | 200,000 円 | 650,000 円 | 330,000 円 | |
| インテリアデザイン科 昼間制 (2年制) インテリアデザインコース 大学コース | 200,000 円 | 520,000 円 | 330,000 円 | |
| 情報システム科 昼間制 (2年制) ITエンジニアコース AIシステムコース ICTクリエイターコース ITスペシャリスト・大学コース | 200,000 円 | 650,000 円 | 330,000 円 | |
| 経営情報科 昼間制 (2年制) やりたいことを仕事にするコース マネジメントエキスパートコース SDGsビジネスコース 大学コース | | 620,000 円 | 330,000 円 | システム情報科へ科名名称変更のため 2年生のみ |
| ビジネス情報科 昼間制 (2年制) 総合ビジネスコース 経営・企業コース 大学コース | 200,000 円 | 620,000 円 | 330,000 円 | 経営情報科からの科名名称変更 |
| 法律情報科 昼間制 (2年制) 法律情報コース 大学コース | 200,000 円 | 620,000 円 | 330,000 円 | |
| 大学併修学科 昼間制 (4年制) | 200,000 円 | 650,000 円 | 330,000 円 | |
| コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) イベント企画コース ステージ制作コース ステージ音響コース ステージ照明コース イベントビジネス・大学コース | 200,000 円 | 720,000 円 | 330,000 円 | |
| 映像メディア学科 昼間制 (2年制) 放送メディアコース 動画クリエイターコース 映像ビジネス・大学コース | 200,000 円 | 720,000 円 | 330,000 円 | |
| 音響芸術科 昼間制 (2年制) 音響芸術コース 大学コース | 200,000 円 | 720,000 円 | 330,000 円 | |
| CGクリエイター科 昼間制 (2年制) CGクリエイターコース 大学コース | 200,000 円 | 670,000 円 | 330,000 円 | |
| デザイン科 昼間制 (2年制) グラフィックデザインコース WEBデザインコース 大学コース | 200,000 円 | 670,000 円 | 330,000 円 | |
| 声優・演劇科 昼間制 (2年制) 声優コース 俳優コース 大学コース | 200,000 円 | 650,000 円 | 330,000 円 | |
| スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツトレーナーコース スポーツインストラクターコース スポーツマネジメントコース サッカーエキスパートコース 大学コース | 200,000 円 | 650,000 円 | 330,000 円 | |
| ミュージック科 昼間制 (2年制) ヴォーカル&シンガーソングライターコース プレイヤーコース サウンドデザイナーコース 大学コース | 200,000 円 | 650,000 円 | 330,000 円 | |
| ゲームクリエイター科 昼間制 (2年制) ゲームクリエイターコース おもちゃクリエイターコース 大学コース | 200,000 円 | 670,000 円 | 330,000 円 | |
| アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) アニメーションコース マンガコース イラストレーションコース 大学コース | 200,000 円 | 670,000 円 | 330,000 円 | |
| 教育専攻科 昼間制 (4年制) 幼稚園教諭1種コース 小学校教諭1種コース 保健体育教諭1種コース | 200,000 円 | 822,000 円 | 330,000 円 | |
| こども学科 昼間制 (3年制) こども英語コース こども音楽コース こどもスポーツコース 大学コース | | 742,000 円 | 365,000 円 | 募集停止のため 2年生、3年生のみ |
| 幼児保育学科 昼間制 (2年制) 保育士・幼稚園教諭2種コース 大学コース | | 770,000 円 | 380,000 円 | こども科へ科名名称変更のため 2年生のみ |
| こども科 昼間制 (2年制) 保育士・幼稚園教諭コース こどもキャリアコース 小学校教諭・大学コース | 200,000 円 | 770,000 円 | 380,000 円 | 幼児保育学科から科名名称変更 |
| 公務員科 昼間制 (2年制) 公務員コース 大学コース | 200,000 円 | 450,000 円 | 330,000 円 | |
| 修学支援(任意記載事項) | | | | |

b) 学校評価

| | | |
|---|-------------------------|---------|
| 自己評価結果の公表方法 | | |
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2023.2024年度評価について、学校HPに公開している。 (掲載： https://www.technosac.jp/department/syllabus/) | | |
| 学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） | | |
| 2024年度～2025年度 5名の委員を選出し学校関係者評価委員会を組織済み。 各位委員の知見を生かし教育内容・学校運営等について評価を実施する。 評価内容を理事会、ボード会、教務委員会に報告し、次年度以降に取り組む。 | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 飲食会社 代表取締役 | 2023.10.1 ～2025.9.30 | 企業（卒業生） |
| 木材会社 代表取締役 | 2023.10.1 ～2025.9.30 | 企業（卒業生） |
| アプリケーション開発会社 代表取締役 | 2023.10.1 ～2025.9.30 | 企業 |
| 公立中学校 校長 | 2023.10.1 ～2025.9.30 | 団体 |
| 学校関係者評価結果の公表方法 | | |
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2025年3月に委員会を開催、2023年度評価をHPで公開している。 (掲載： https://www.technosac.jp/department/syllabus/) | | |
| 第三者による学校評価（任意記載事項） | | |
| | | |

c) 当該学校に係る情報

| |
|---|
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HPアドレスは https://www.technosac.jp/eng/ 資料請求は https://www.school-go.info/19gi13/technosac/form.php?fno=1&fsno=1&nno=72 |
|---|

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

| | |
|-------------------|---------------|
| 学校コード (13桁) | H113321000016 |
| 学校名 (〇〇大学 等) | 東京工学院専門学校 |
| 設置者名 (学校法人〇〇学園 等) | 学校法人田中育英会 |

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

| | | 前半期 | 後半期 | 年間 |
|---|-------------|------------|------------|------------|
| 支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。 | | 50 人 (人) | 50 人 (人) | 50 人 (人) |
| 内 訳 | 第Ⅰ区分 | 26 人 | 27 人 | |
| | (うち多子世帯) | (0人) | (0人) | |
| | 第Ⅱ区分 | 11 人 | - 人 | |
| | (うち多子世帯) | (0人) | (0人) | |
| | 第Ⅲ区分 | 11 人 | - 人 | |
| | (うち多子世帯) | (0人) | (0人) | |
| | 第Ⅳ区分 (理工農) | 0 人 | 0 人 | |
| | 第Ⅳ区分 (多子世帯) | - 人 | - 人 | |
| 区分外 (多子世帯) | 0 人 | 0 人 | | |
| 家計急変による 支援対象者 (年間) | | | | 0 人 (人) |
| 合計 (年間) | | | | 50 人 (人) |
| (備考) | | | | |

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|----|----|
| 年間 | 0人 |
|----|----|

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

| | 右以外の大学等 | | |
|---|---------|-----|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 修業年限で卒業又は修了できないことが確定 | 0人 | 0人 | 0人 |
| 修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当) | 0人 | 0人 | 0人 |
| 出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況 | -人 | -人 | 0人 |
| 「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。 | 0人 | 0人 | 0人 |
| 計 | -人 | 0人 | 0人 |

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

| 右以外の大学等 | | 短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。) | | | |
|---------|----|--|----|-----|----|
| 年間 | 0人 | 前半期 | 0人 | 後半期 | 0人 |

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|---------|----|
| 退学 | 0人 |
| 3月以上の停学 | 0人 |
| 年間計 | 0人 |

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

| | |
|---------|----|
| 3月未満の停学 | 0人 |
| 訓告 | 0人 |
| 年間計 | 0人 |
| (備考) | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

| | 右以外の大学等 | 短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） | |
|-------------|---------|---|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| GPA等が下位4分の1 | 人 | 0人 | 0人 |

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

| | 右以外の大学等 | 短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） | |
|---|---------|---|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当) | 人 | 0人 | 0人 |
| GPA等が下位4分の1 | 人 | 0人 | 0人 |
| 出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況 | 人 | -人 | -人 |
| 計 | 人 | -人 | -人 |
| (備考) | | | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。